

助成事業名

大野町共有地の利用を考える事業

(まちづくり助成1年目：耀く大野町まちづくり委員会)

事業概要

低未利用地の有効利用について勉強会やワークショップを行い、基本構想を作成する。

実施内容

大野町共有地利活用セミナー(5回)と
先進事例(佐賀市 わいわい! コンテナ2)の視察を行い、
3箇所の大野町共有地の有効利用の可能性について
住民同士で意見を交わした。

第1回 7月25日(参加者12人)
【講師】各務原市都市建設部土地活力創造課 松下了氏・大野尚子氏
【内容】・大野町共有地って何?
・各務原市の取り組み

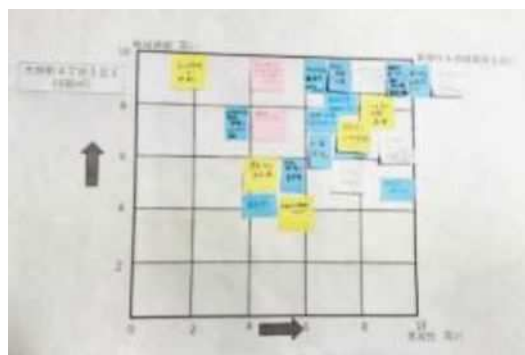
第2回 8月29日(参加者16人)
【講師】美濃善不動産株式会社 代表取締役 浅野彰成氏
PEP UP CIRCLE 共同代表 葉山瑛介氏
【内容】・土地の活かし方
・古民家活用の事例

第3回 9月26日(参加者13人)
【講師】CBRE(株)コンサルタント 新川義志氏
(株)オアシスパーク寺田祥夫氏
【内容】・産業的使い方(賃貸型物流倉庫の事例)
・公園的使い方(オアシスパークの事例)

第4回 10月24日(参加者9人)
【講師】(株)オアシスパーク寺田祥夫氏、
各務原市まちづくり推進課 辻由紀夫
【内容】活用プランを考えるワークショップ

第5回 11月28日(参加者10人)
【講師】岐阜大学名誉教授 | 岐阜県地方自治研究センター理事長
富樫幸一先生
【内容】行動計画作成のワークショップ

第6回 3月3日
【内容】佐賀市「わいわい!! コンテナ2」視察



-*

事業成果

- セミナーとワークショップを開催することで、住民が再度「低未利用地」の運用について意識した。
- 基本構想(基本方針)の完成には至らなかったものの、大野町が保有している3つの低未利用地について、「売る」「貸す」「運営委託」「包括連携・指定管理」などの運用可能性について住民が事例を学び、話し合いのベースができた。
- 「土地の運用により収入があった場合にどう使うか」という課題や自治会運営のあり方についても話題となった。今後、実証実験などに挑戦しながら、地域での話し合いを継続していく。

収支報告

事業費総額(決算予定額) 381,243円 / 助成金交付予定額 246,000円

助成経費内容

報償費(謝金)、旅費、需用費(紙、プリンターインク、フライヤー印刷)、賃借料(illustratorソフト使用料)